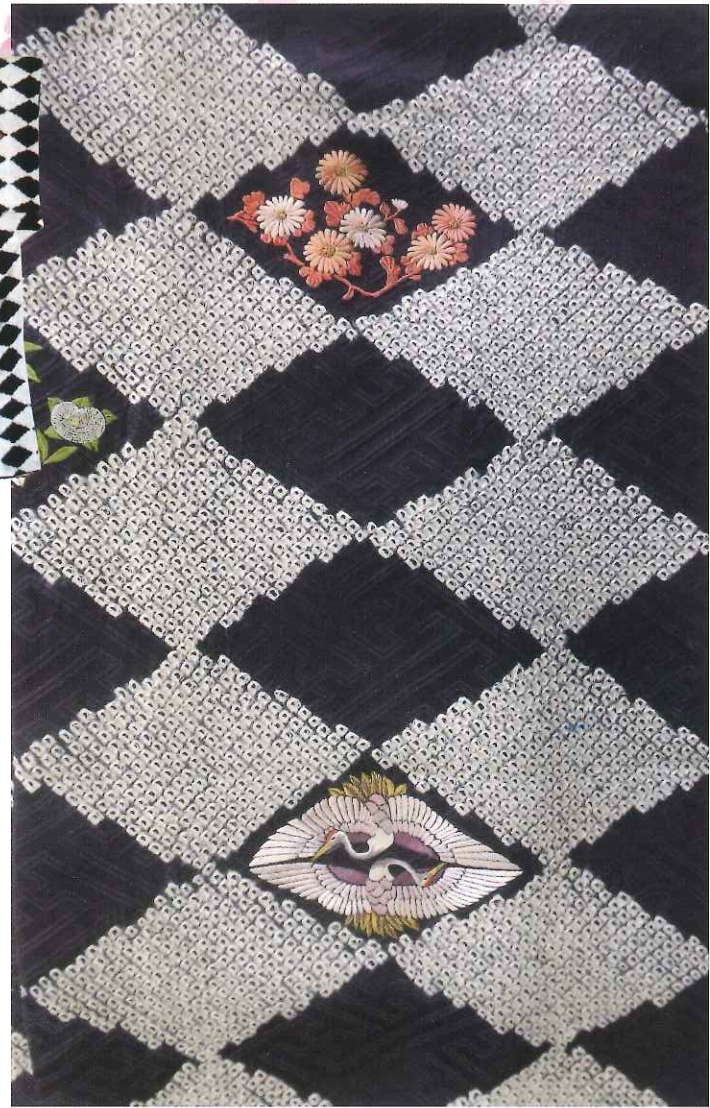


芦屋市  
谷崎潤一郎  
記念館  
2017年度  
春の特別展

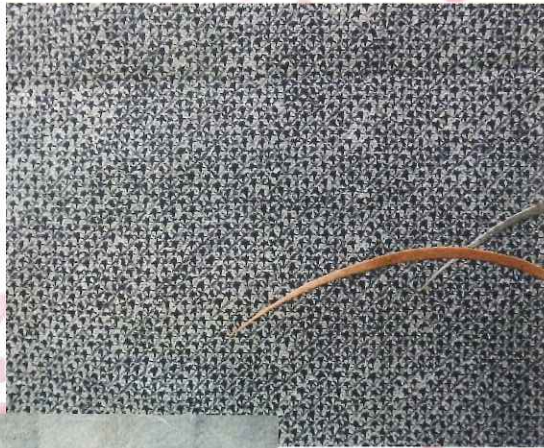
# 和らまん

谷崎の愛した絵画、工芸、着物



西洋モダンイズムにあこがれていた文豪を、古典へと回帰させた〈和〉の魅力。贅を尽くし、意匠を凝らした手仕事の細やかさを、展示品の一部からご紹介します。

妻の松子が特にお気に入りだった総絞りの訪問着。間近で見ると菊の花々や鶴などの刺繍が随所にほどこされています。



夏用の透ける絹でありながら総絞りという非常に珍しい訪問着。金銀の夏草がちりばめられた松子愛用の一着です。



一見無地の地味な着物に見えますが、裾下や裾まわりの色の重ね方は十二単を意識したものの。王朝文化を愛してやまなかった谷崎自身がデザインしました。

## 春の特別展開連イベント 谷崎文学朗読会「和らまん」～谷崎の愛した絵画、工芸、着物～

5月20日(土)午後2時～3時30分、当館講義室

日本の伝統的美意識に根差した代表的な箇所を谷崎文学の中から抜粋し、朗読グループ RST のメンバーがお聞かせします。進行・解説は井上勝博・当館学芸員。定員30人(先着順、予約優先)。1000円(入館料込み)。